

世界に誇れる奈良公園を目指した取組

TOPIC

- ・「安い」「浅い」「狭い」観光地となってしまう現状を踏まえ、奈良県観光戦略本部での議論のもと、観光客の満足度を高め、観光消費の拡大に向けた取組を推進します。
- ・奈良公園周辺の施設や様々な自然資源を活用し、ナイトタイムエコノミーにつながるコンテンツを造成します。
- ・奈良公園および周辺の未利用地において、民間活力を活用し、滞在しやすい環境づくりに努めます。
- ・天然記念物「奈良のシカ」の保護育成や 特別天然記念物「春日山原始林」の保全のほか、名勝「奈良公園」の価値を高める取組を継続します。
- ・奈良公園周辺の情報発信拠点として、奈良公園バスターミナルの更なる利活用を進めます。

観光地としての魅力創造の取り組み

奈良県観光戦略本部を中心に、観光を戦略的に推進

奈良公園周辺の観光消費額の引き上げにつながる具体的な施策について、奈良県観光戦略本部(近鉄奈良駅・新大宮駅・JR奈良駅周辺エリア部会)で意見を聴取し、新たな取り組みを推進しています。

令和6年度は、OTA(オンライン・トラベル・エージェント)との連携による広報キャンペーンや、特定の場所に集中する人流の分散実証実験を、令和7年度は、奈良公園周辺の博物館・美術館と連携したナイトタイムコンテンツの造成実験や奈良の夜のイメージ動画作成しました。

令和8年度は、奈良公園周辺の施設や自然資源の活用によるナイトタイムコンテンツの造成実験を継続していきます。



▲奈良公園に集中する観光客

奈良公園および周辺の未利用地における民間活力の活用

裁判所跡地や旧知事公舎等の未利用地を、都市公園の便益施設として、民間活力を活用したホテルの整備・運営を行っています。令和2年に^{ほうがやま}瑜伽山園地の「^{こころ}心ふ奈良」、令和5年に吉城園の^{しずい}「紫翠ラグジュアリーコレクションホテル奈良」が開業しました。

また、旧奈良監獄を活かしたホテル「星のや奈良監獄」の整備に向け、法務省、奈良市との包括協定に基づき、アクセス道路整備事業を支援するなど、歴史的文化的価値を保存・活用するための事業への協力を継続していきます。



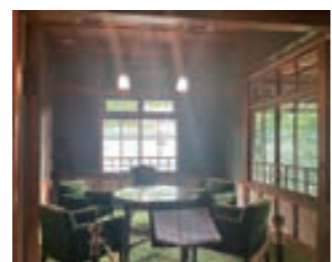
▲紫翠ラグジュアリーコレクションホテル奈良(旧知事公舎)



▲星のや奈良監獄のイメージ(星のや奈良監獄より提供)(R8完成予定)



▲瑜伽山園地 茶室



▲旧知事公舎・御認証の間

奈良を深く知り、満足度を高める取り組み

天然記念物「奈良のシカ」の保護・育成、鹿苑の整備

100年後も人とシカがより良い関係で共生できるよう、奈良市や春日大社等と連携しながら、天然記念物「奈良のシカ」の保護・育成に努めています。また、奈良のシカの保護施設「鹿苑(ろくえん)」の整備も進めており、いままでに鹿の給餌施設3棟が完成しました。これからも順次整備を進めていきます。



▲鹿苑の整備イメージ



▲鹿の給餌施設



▲鹿寄せ

特別天然記念物「春日山原始林」の保全、植栽整備による景観保全

特別天然記念物「春日山原始林」を守り再生するため、「春日山原始林保全計画」に基づき、保全に努めています。植物の生育環境や眺望景観を守るため「奈良公園植栽計画」に基づき、文化的景観の保全を進めています。



▲春日山原始林内に植生保護柵(シカ食害から樹木を守る柵)を設置・維持管理



▲後継樹の育苗状況



▲植栽計画に基づく植栽整備

奈良公園の水環境改善

多くの観光客が訪れる^{さぎいけ}鷺池(浮見堂)や^{さるさわいけ}猿沢池の水環境改善に取り組んでいます。鷺池では池干し・^{しゅんせつ}浚渫(汚泥の除去)を行うほか、上流にある「鹿苑」に浄化設備を設置しました。また、猿沢池でも、常時の流入水を確保するための取り組みを行っています。

令和8年度も、水環境改善に向けた検討・対策を進めていきます。



▲鷺池の浚渫作業

奈良公園バスターミナルの利活用

奈良公園内への観光バス流入による渋滞を緩和するとともに、奈良公園周辺の歴史文化を学習できる施設、展望の良い休憩場所や飲食物販店等を配置しています。これからも、観光客の満足度を向上するため、奈良の魅力の一つ「奈良の酒類等」を提供できる店舗を配置するなど、情報発信拠点として更なる利活用を進めます。



▲奈良公園バスターミナル



▲「奈良の酒類等」提供店舗



▲東棟1階での県内市町村紹介マルシェ(「な・ら・ぐ・み」)

Ⅲ. 自然・歴史・文化を活用した観光産業の振興

1. 奈良公園での取組

奈良公園周辺で滞在時間を延ばす取り組み

奈良公園では、四季を通じて県内外から多くの人々に訪れていただける様々な事業に取り組んでいます。今後も、奈良での滞在時間を延ばして泊まってもらえるよう、奈良の奥深い魅力をブランディングし、ゆっくりじっくりと楽しめるイベントを展開していきます。



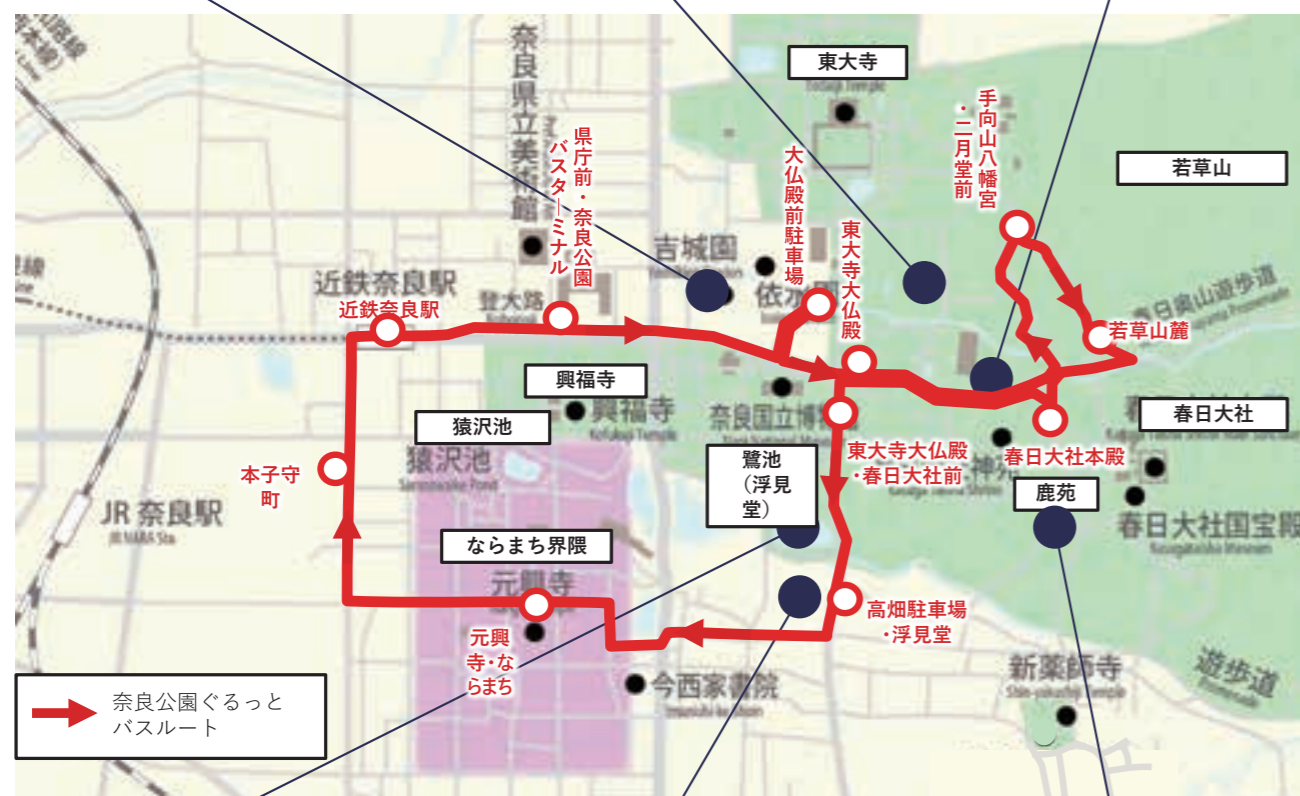
吉城園



春日野園地(なら燈花会)



菫庭園 (なら瑠璃絵)



浮見堂 (なら燈花会)



旧山口氏南都別邸庭園



鹿苑 (鹿の角切り)

コラム 周遊観光促進と渋滞対策

●奈良中心市街地の交通対策

奈良公園周辺では、周遊観光の促進と、交通渋滞などの問題に対応するため、観光地と鉄道駅を結ぶ周遊バス「ぐるっとバス」を運行しています。繁忙期にはP&Rでシャトルバスも運行し、公共交通の利用促進を図っています。



▲詳しくはこちら (アクセスナビHP)



▲ぐるっとバス

奈良公園周辺でのイベント・職員からの紹介



▲「奈良のシカ」と燈花会



▲なら燈花会

【なら燈花会】
開催日:8月
開催場所:奈良公園一帯(浮雲園地、浅茅ヶ原園地、浮見堂、興福寺、猿沢池と五十二段、東大寺鏡池周辺、春日大社参道、奈良国立博物館前)
主催:NPO法人 なら燈花会の会



奈良公園の夏の夜を彩る「なら燈花会」。令和8年には第28回目の開催を迎えます。夜の暗さや静けさが、奈良らしい雰囲気醸し出します。

【若草山焼き行事】

開催日:1月4日土曜日
開催場所:若草山一帯
主催:若草山焼き行事実行委員会 (事務局:県奈良公園室)



▲若草山焼き行事



▲若草山点火前の大花火

古都奈良に早春を告げる伝統行事「若草山焼き行事」。起源は江戸時代以前に遡り、明治33年から夜間行事となりました。多くの関係者が関わる一大行事です。



▲なら瑠璃絵



▲奈良公園と三社寺をつなぐ光の回廊

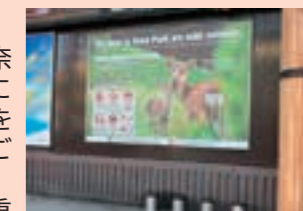


瑠璃色の光で彩る「なら瑠璃絵」。奈良公園だけでなく、三社寺(春日大社、興福寺、東大寺)ご協力のもと、奈良公園一帯が光の回廊につながります。

【なら瑠璃絵】
開催日:2月
開催場所:奈良公園一帯(春日大社、興福寺、東大寺、奈良春日野国際フォーラム菫)
主催:なら瑠璃絵実行委員会

“こんな仕事ができる!!” 若手職員の声 (奈良公園室(入庁2年目))

私は、天然記念物“奈良のシカ”の保護・育成に関する業務に従事しています。“奈良のシカ”は、野生の動物ですので、保護の方法は難しく、観光客の増加とともにシカとの接し方に関する課題がクローズアップされています。このため、マナーを知ってもらう工夫として駅前への大型看板の設置や動画を作成するとともに、ごみの誤食を防ぐための公共ごみ箱の設置の実証実験を行っています。奈良のシカと人が正しく共存できるよう、責任は重大ですがいろいろな工夫を重ねていきたいと思っています。



▲設置したマナー啓発看板

“日本の食のはじまりは奈良”
世界と交わり・地域とつながる空間づくり



平城宮跡歴史公園(県営公園区域)では、奈良時代の精神を受け継ぎ、「日本の食」と「チャレンジ・クリエイティブな活動」をキーワードに空間づくりを進めています。

世界が認める日本食のルーツは平城京にあり

奈良時代、平城京には日本各地から特産品が納められ、遣唐使や渡来人によって外国の食や技術が持ち込まれました。当時の人々はそれらの食材をよりおいしく、そして長く楽しむために加工技術を考案。味噌や醤油(ひしお)などの発酵食品を生み出したのです。やがてそれが全国に広がり、日本の食文化として確立。お茶やまんじゅうも奈良発祥です。



日本食を楽しむことが旅の目的に

「日本人の伝統的な食文化」「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録されたのを機に、国内外で日本食に対する関心が高まっています。また、旅の目的もショッピングなどの「モノ消費」から、日本の文化や伝統、食事などの体験を楽しむ「コト消費」に移行しており、日本の歴史遺産、そして日本の食文化のルーツである平城宮跡歴史公園への期待は膨らんでいます。



大宮通りより南側の地区で、平城京を体感できるにぎわいづくり

観光戦略本部平城宮跡周辺エリア部会やパブリックコメントの結果を踏まえ、令和7年10月に平城宮跡歴史公園(県営公園区域)の基本計画を改定しました。基本計画では、大宮通りより南側の区域を、「平城京を体感できるにぎわいづくり」のエリアとして整備することとしています。



平城宮跡歴史公園(県営公園区域)では、奈良観光の玄関口としての拠点性と利便性を活かし、平城京に対する知識と理解を深められるよう、「日本の食のはじまりは奈良」をコンセプトとした食のハブ拠点を整備します。朱雀大路をはじめとした遺構や平城京の広がりを感じながら、奈良ならではの食を体感できるレストランやカフェを誘致。当時の平城京では、様々な人が集まり活躍していた史実を踏まえ、新しいアートや価値を生み出すとする人がチャレンジできる場にもしていきます。



平城宮跡歴史公園(県営公園区域)について詳しくはこちら(公園企画課HP)

令和8年度事業内容

TOPIC さらににぎわいや魅力向上に向けて取り組みます

平城宮跡歴史公園(県営公園区域)の整備は、既存施設の活用や民間活力の導入も含めて、観光戦略本部平城宮跡周辺エリア部会で議論を深めています。令和8年度は、令和13年度の全面供用に向けて、民間事業者を公募します。

“こんな仕事ができる!!” 担当職員の声(公園企画課(入庁15年目))

公園企画課は、県営公園の維持・管理や整備などを行う部署です。

私は歴史公園係に所属しており、国(国土交通省・文化庁)や有識者、地元などの関係者と協議を重ねながら、日々業務に携わっております。

私が公園行政に携わり、驚いたことのひとつは設計の自由度の高さです。土木施設の設計では設計者にかかわらず最も合理的な形に帰着するのに、公園の設計は非常に自由度が高いです。この自由度を楽しめることが公園行政の魅力だと感じています。



▲平城宮跡歴史公園・復原遣唐使船

馬見丘陵公園の
にぎわいづくり

馬見丘陵公園では、本県が誇る近畿でも有数の花の公園として、にぎわいづくりを進めています。



馬見丘陵公園
デジタルマップ



Instagram

季節ごとの花のイベント



▲はるいろマルシェin馬見チューリップ (4月)



▲にぎわいマルシェin馬見花菖蒲 (6月)



▲あおぞらマルシェin馬見ひまわり (8月)



▲きらめきマルシェin馬見クリスマス (12月)



▲あきいろマルシェin馬見フラワーフェスタ (10月)



電動カート



カート運行路

ドローンによる空撮!



360°
園内の散策体験

▲Official Youtube チャンネル

令和8年度事業内容

馬見丘陵公園の更なるにぎわい創出のため、年間を通じたイベントの実施や花の植栽管理を行うと共に、それに伴う課題解決のための対策を検討・実施します。地元4町(上牧町、王寺町、広陵町、河合町)等で構成される「馬見丘陵公園にぎわいマネジメント協議会」において、「公園への誘客」「公園の維持管理に係る財源の確保」「地域との連携によるにぎわい創出」などに取り組みます。

- 季節ごとの花等によるパノラマ景観の創出のため、効果的な植栽管理を実施します。
- 花の見頃に合わせて、地元の特産品や飲食物の販売、バスの増便による交通対策等を実施します。

- 園内移動支援のための電動カートを実行します。
- 熱中症対策のためのクールスポットを園内の複数箇所に配置します。



▲チューリップと桜による景観創出



▲地元の特産品や飲食物の販売

TOPIC

馬見丘陵公園では、持続可能な公園の管理・運営を図るため、令和10年度以降に民間活力の導入を予定しています。民間活力の導入に向け、民間事業者の創意工夫やノウハウを活かした新たな利用可能性を検討するため、令和8年度にトライアルサウンディングを実施します。

“こんな仕事ができる!!” 担当職員の声 (中和公園事務所(入庁9年目))

馬見丘陵公園では、季節に応じた花々が咲くようにしており、花の見頃にあわせた「やまと花ごよみ」イベントや、草木染め・押し花体験などの講習会を開催しています。

主に季節に応じた花壇の整備や、イベントの開催に向けた関係団体および近隣市町村との調整、公園の魅力を発信するための広報活動を担当しています。また、馬見丘陵公園は開園より年月が経過していることから、施設の至る箇所での老朽化が顕著であり、来園者に気持ちよく公園を利用してもらえるよう、日々の施設の修繕対応など、公園内の幅広い業務に携われるのが魅力であると感じています。



Ⅲ. 自然・歴史・文化を活用した観光産業の振興

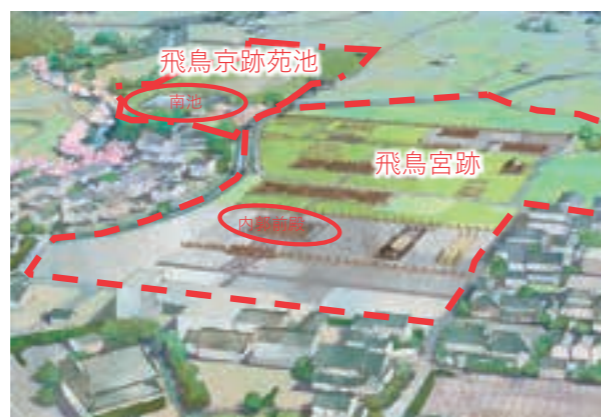
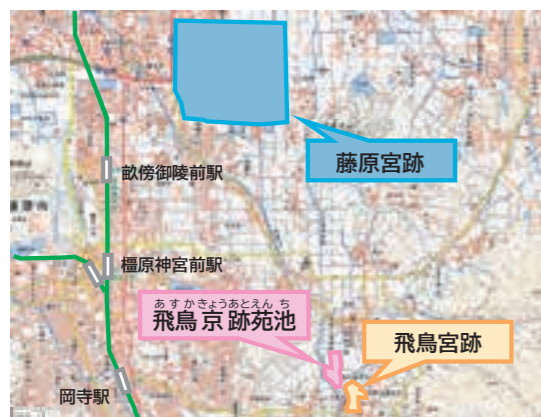
4. 令和8年の世界遺産登録を目指す飛鳥・藤原の宮都

「飛鳥・藤原の宮都」は、6世紀末期～8世紀初頭の約100年という短い期間に、日本列島において、初めて中央集権国家が誕生したことを示す資産です。
令和7年1月に、世界文化遺産の国内推薦資産として、ユネスコに推薦書が提出されました。

史跡飛鳥宮跡、史跡及び名勝飛鳥京跡苑池の保存と活用

飛鳥時代の地下遺構を守り伝える史跡の整備

世界遺産登録を目指すとともに、飛鳥時代の宮殿と庭園の遺跡を保存・活用した史跡を整備し、その価値を国内外に伝えます。



飛鳥京跡苑池（南池）復元イメージ



内郭前殿 遺構表示イメージ

藤原宮跡の国営公園化

特別史跡に指定されている宮殿遺跡

世界遺産登録を目指すとともに、国際的な観光交流拠点として安全・快適なおもてなし空間の創出のため、国営公園化を要望しています。



藤原宮跡と香具山



藤原宮跡(復元された建物跡を示す柱列)

5. 2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)

所属や職種の枠を越えて庭をデザイン

2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)は国際的な園芸の発展や花と緑が楽しめる暮らしの創造を目的としています。

奈良県も屋外展示(約25㎡)を行い、国内外に奈良の魅力を発信します。

【開催概要】

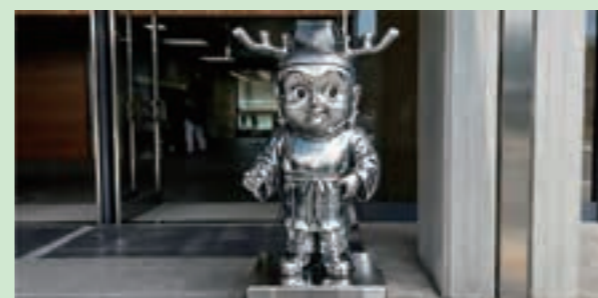
位置付け:最上位国際園芸博覧会(A1)
国際博覧会条例に基づく認定博覧会
開催場所:旧上瀬谷通信施設の一部(約100ha)
(横浜市旭区・瀬谷区)
開催期間:2027年3月19日～9月26日
テーマ:幸せを創る明日の風景
開催者:(公社)2027年国際園芸博覧会協会



会場イメージ図
出典:公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

TOPIC 茶話会での取組

茶話会(「若手職員を中心として、所属や職種の枠を越えて自由に意見交換をおこない、課題点・改善策について議論する場」)において、全5回にわたり意見交換を行い、庭(屋外展示)の基本設計を完成させました。



メタリックせんとかん(※イメージです)

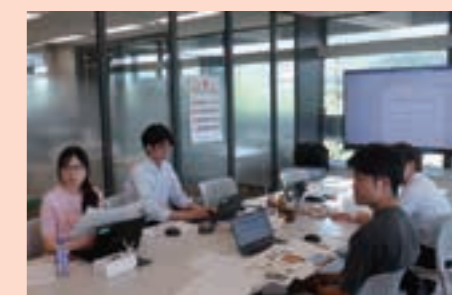


屋外展示のイメージスケッチ

“こんな仕事ができる!!” 若手職員の声 (公園企画課 (入庁3年目))

2027年に開催される国際園芸博覧会を、より多くの人にとって魅力あるものになりたいという思いから、所属や職種の垣根を越えた若手職員が集まり、茶話会を開催しました。

それぞれの業務で培ってきた知識や経験、自由なアイデアを持ち寄ることで、「こんな見せ方ができるのでは」「来場者にこんな体験を届けたい」といった前向きな議論が広がりました。同じ目標に向かって立場を超えて考えるこの場は、とても刺激的でやりがいを感じています。



意見交換の状況

2027年花博に奈良県の屋外出展を是非見に来てください!

6. 自転車周遊環境の充実

県内には、全長600kmのサイクリングルート「奈良まほろばサイクリング(ならクル)」、京都嵐山から奈良を通り、和歌山港に至る全長約180kmの「京奈和自転車道」があります。

令和7年3月には、「京奈和自転車道」を軸とした「古都奈良エリア」、「法隆寺エリア」、「飛鳥・藤原エリア」の世界遺産などを巡る1周約70kmの「世界遺産周遊サイクルルート」が繋がりました。

これらのルートを活かしていただくため、ならクル・サポーターの認定やHP等での情報発信による自転車活用推進を図っています。

自転車活用推進の取組

●「ならクル・サポーター」の認定

民間施設と連携した取組として、商業施設などの駐車場を無料で利用できる「サイクリストにやさしい駐車場」、トイレ、空気入れの貸出などのサービスを提供する「自転車の休憩所」、自転車の屋内保管などが可能な「サイクリストにやさしい宿」など、「ならクル・サポーター」の認定を行っています。



▲「ならクル・サポーター」のマーク

※R7.12月末時点

	自転車の休憩所	サイクリストにやさしい宿	サイクリストにやさしい駐車場
認定数	161施設	56施設	8施設

▲認定されている施設数

●「ジテンシャでなら」奈良県自転車利用総合案内サイト

サイトでは奈良県での自転車利用に関する情報を紹介しています。「京奈和自転車道」、「ならクル」全39ルートを掲載しており、地域や距離等の条件からルート検索も可能です。さらに、3つのルートアプリでルートが確認できます。



▲サイト画面(スマホ版)

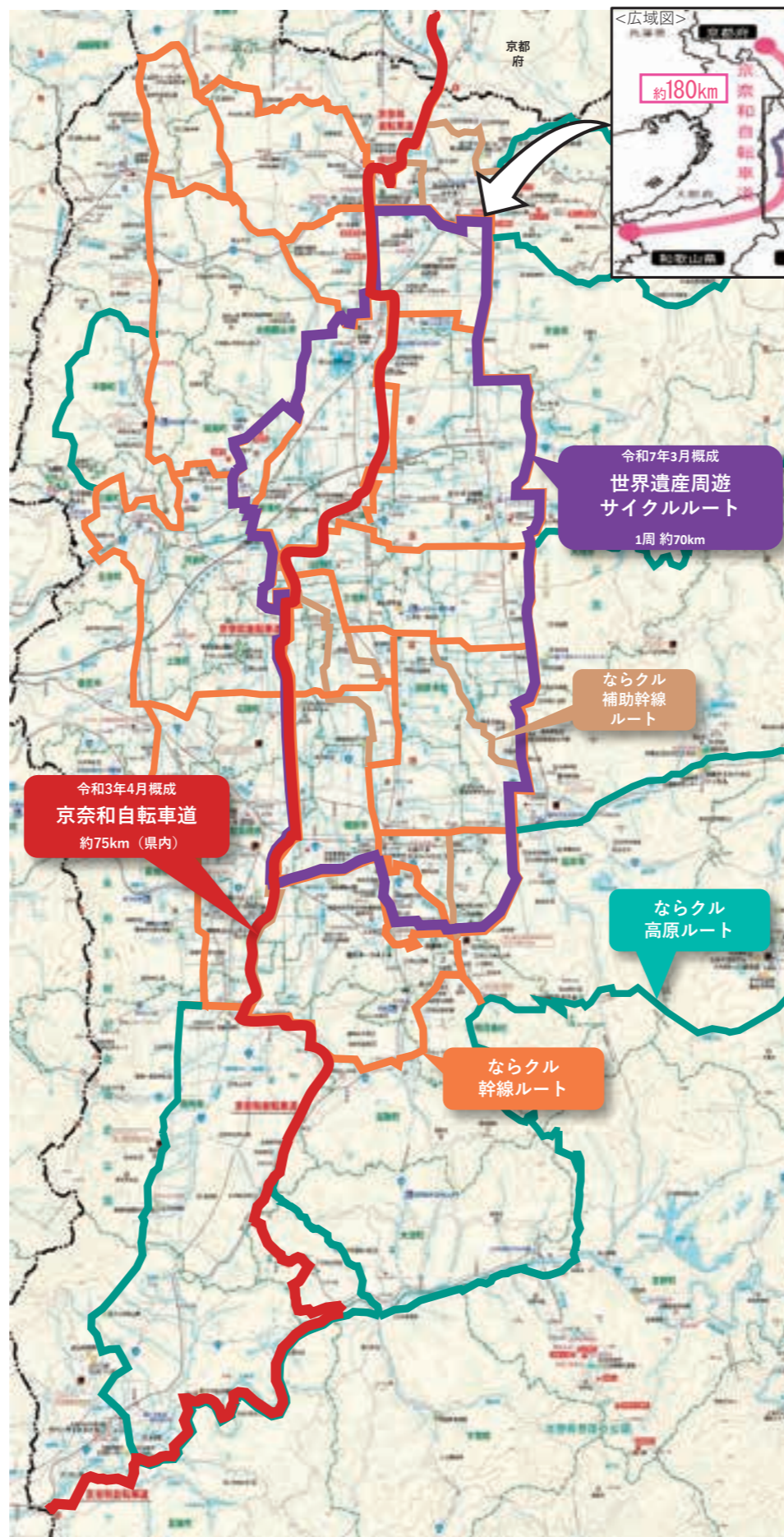


▲ルート検索



▲「ジテンシャでなら」奈良県自転車利用総合案内サイト

▲「ジテンシャでなら」ルート検索



●自転車走行環境の整備

ルートの案内サイン・路面標示・木柵等を整備しています。



▲京奈和自転車道(大和郡山市)



▲世界遺産周遊サイクルルート(斑鳩町)

【令和8年度事業内容】

TOPIC

1. 情報発信の充実

HPやSNS、サイクリングマップ等、さまざまな媒体を活用し、奈良県での自転車利用に関する情報を発信していきます。

2. サイクルルートの走行環境の整備

自転車利用者の声を聞きながら、京奈和自転車道、世界遺産周遊サイクルルートの走行環境の改善を実施していきます。

また、音声ナビゲーションへの対応を検討し、わかりやすいルート案内の充実を図ります。

コラム 近鉄田原本線でサイクルトレインを運行

奈良県、近鉄田原本線沿線各町及び近畿日本鉄道(株)が連携し、令和5年4月より通常ダイヤの電車でサイクルトレインを運行しています。



▲新王寺駅改札口の様子

コラム 世界遺産周遊サイクルルート R7年3月概成

「古都奈良」、「法隆寺」、「飛鳥・藤原」の3つのエリアの世界遺産等を巡る全長約70kmの世界遺産周遊サイクルルートが、令和7年3月に概成しました。

世界遺産だけでなく、聖徳太子が飛鳥から法隆寺へと向かった古道、大和平野を取り囲む美しい山並みと田園風景、山の辺の道周辺の四季折々の景観をお楽しみいただけます。



▲飛鳥・藤原エリア(明日香村内)



「道の駅」の取り組み

「道の駅」は、安全で快適に道路を利用するための道路交通環境の提供、地域のにぎわい創出を目的とした施設で、「地域とともにつくる個性豊かなにぎわいの場」を基本コンセプトにしています。駅ごとに地方の特色や個性を表現し、文化などの情報発信や様々なイベントを開催することで利用者が楽しめるサービスを提供しています。



▲奈良県「道の駅」MAPはこちら



▲クロスウェイなかまち



▲なら歴史芸術文化村

道の駅の3つの機能

休憩機能
24時間無料で使える
駐車場やトイレ



▲ふたかみパーク当麻

情報発信機能
道路・観光情報
を発信



▲吉野路上北山

地域連携機能
施設を利用した
地域との交流



▲宇陀路室生

奈良県内の道の駅(18駅) [全国1,231駅(R7.12時点)]

- ① 168 吉野路大塔 [五條市]
- ② 169 吉野路上北山 [上北山村]
- ③ 169 杉の湯川上 [川上村]
- ④ 309 吉野路黒滝 [黒滝村]
- ⑤ 165 ふたかみパーク当麻 [葛城市]
- ⑥ 166 宇陀路大宇陀 [宇陀市]
- ⑦ 168 十津川郷 [十津川村]
- ⑧ 165 宇陀路室生 [宇陀市]
- ⑨ 25 針TRS [奈良市]
- ⑩ 168 大和路へぐり [平群町]
- ⑪ 169 吉野路大淀センター [大淀町]
- ⑫ 368 伊勢本街道御杖 [御杖村]
- ⑬ 166 かつらぎ [葛城市]
- ⑭ 24 レスティ唐古・鍵 [田原本町]
- ⑮ 169 飛鳥 [明日香村]
- ⑯ 25 なら歴史芸術文化村 [天理市]
- ⑰ 7 クロスウェイなかまち [奈良市]
- ⑱ 169 きなりの郷 下北山 [下北山村]

特定テーマ型モデル「道の駅」※1

重点「道の駅」候補 ※3

重点「道の駅」※2

重点「道の駅」候補 ※3

重点「道の駅」※2

防災道の駅 ※4

防災道の駅 ※4

整備中



※1 特定テーマ型モデル「道の駅」…特定のテーマについて、全国の模範となる取組を行い、成果が認められるものとして、国土交通省が認定。
 ※2 重点「道の駅」…地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものとして、国土交通省が選定。
 ※3 重点「道の駅」候補…地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的な取組が期待できるものとして、地方整備局等が選定。
 ※4 防災道の駅…広域的な防災機能を担うため、国等の支援を受けてハード・ソフト対策を強化した「道の駅」を対象に、国土交通省が選定。

● 道の駅「クロスウェイなかまち」

道の駅「クロスウェイなかまち」は、令和6年11月30日に開駅しました。道の駅が本来持つ「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域の連携機能」に加えて、「防災機能」を有しており、国土交通省から「防災道の駅」に選定されています。



▲道の駅レイアウト

▼館内の施設



▼情報発信スペース (北東棟)

周辺地域だけでなく中
南和地域も含めた観光資
源等の情報を発信します。
また、受付にはコンシエ
ルジュが常駐して、施設
案内・観光案内を行います。



▼喫茶 千壽茶寮なかまち店 (北西棟)

「喫茶 千壽茶寮」の2号
店。生のわらび餅や季節の
奈良県産フルーツを使った
かき氷を提供します。



▼農産物直売所 (南棟)

「奈良らしさ」をテーマ
に、県内の地域生産者
から届く採れたての野
菜や果物、こだわりの詰
まった加工品を販売し
ます。



▼レストラン「なかまちきっちゃん」 (南棟)

奈良県産の肉類や野
菜を中心にイタリアン
や和食、スイーツなど
を提供します。

防災フェスの実施(R7 6月・10月)



富雄丸山古墳に関連するイベントを開催(R7 4月・11月)



● 道の駅「なら歴史芸術文化村」

なら歴史芸術文化村は、施設全体が「道の駅」として登録されており、歴史、芸術、食と農など、奈良県の誇る文化に触れることができる多機能複合施設です。日本で初めてとなる文化財建造物の修理作業現場の通年公開や、アーティストによる創作活動や交流、未就学児を対象としたアートプログラムなどを実施します。

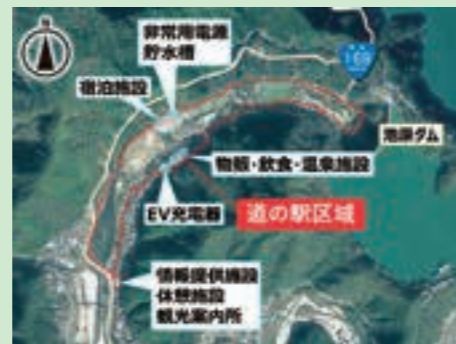


TOPIC

「きなりの郷 下北山」が道の駅に登録されました

令和7年6月13日に「きなりの郷 下北山」が奈良県18番目の道の駅として登録されました。この道の駅は、宿泊施設、温泉施設、スポーツ施設・遊び場、休憩施設を有しており、「防災道の駅」にも選定されています。南海トラフ巨大地震等の大規模な災害に対して、救助活動や各地からの支援物資の受け入れ等に迅速な対応が可能になるものと期待されます。

現在、令和8年度のオープンに向けて、整備が進められています。



▲きなりの郷 下北山(平面図)